

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人科学技術振興機構施設整備に必要な経費		担当部局庁	科学技術・学術政策局			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度・未定		担当課室	人材政策課			人材政策課長 松尾泰樹	
会計区分	一般会計		政策・施策名	VII-1 科学技術関係人材の育成及び科学技術に関する国民意識の醸成、VII-4 科学技術の国際活動の戦略的推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人科学技術振興機構法		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画 (平成23年8月閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	科学技術振興機構(JST)の設置する施設の整備・充実を図るために要する経費をJSTに対して補助することにより、もって科学技術の振興を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	JSTに対して、以下の取組を実施するための施設の整備充実に係る経費を補助する。 ・JST本部、外国人研究者宿舎・日本科学未来館の施設について老朽化等により性能を維持できなくなったものの改修等を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算	98.438	141.999	111.851	98.169	131	
		補正予算	—	—	—	—	—	
		繰越し等	27,327.209	244.010	—	—	—	
	計	27,425.647	386.009	111.851	98.169	131		
	執行額	25,268.730	347.448	91.655				
執行率(%)	92%	90%	82%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (毎年度)
	機構の行う業務を実施するうえで必要となる施設を整備できたか		成果実績	—	機構の行う科学振興業務等を実施するうえで必要となる施設を整備。JST本部、日本科学未来館等の整備を行った。	機構の行う科学振興業務等を実施するうえで必要となる施設を整備。JST本部、日本科学未来館等の整備を行った。	機構の行う科学振興業務等を実施するうえで必要となる施設を整備。JST本部、日本科学未来館等の整備を行った。	事業の達成上必要最低限の範囲を計画的に満たす
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	施設の整備数		活動実績 (当初見込み)	件	43	6	3	3
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠	※(独)科学技術振興機構の事業を実施するうえで必要となる施設整備費補助金のため、単位当たりコストの算出は困難				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	施設整備費補助金	98百万円	131百万円					
	計	98百万円	131百万円					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	JSTは、科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)の実施において、中核的な役割を担う機関として、科学技術イノベーションで世界を牽引するための研究開発の立案、科学技術イノベーション創出及びその基盤形成を推進しており、当該法人の施設の改修は優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	随意契約については、契約の性質又は目的が競争を許さない契約(建物所有者指定による修繕工事)および少額随意契約のみとなっている(国と同等の基準)。国の少額随意契約基準以上の調達案件については、一般競争を実施し、やむを得ない場合であっても企画競争や公募等の競争性及び透明性の高い契約方式で調達を行っている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	中期目標を達成するための中期計画を定め、中期計画通りに業務を実施している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>平成24年度行政事業レビューの指摘を踏まえ、以下の点について改善が見られた。</p> <p>○①契約監視委員会の点検結果を踏まえた仕様内容の見直し②仕様内容の確認を仕様書チェックリストによる点検③国の少額随意契約基準以上の調達案件については、一般競争、やむを得ない場合であっても企画競争や公募等の競争性及び透明性の高い契約方式等を実施し、契約の競争性、公平性、透明性を確保。</p> <p>○必要に応じて文部科学省の研究開発法人間で情報交換を行い、予定価格の適正化を図った。</p> <p>引き続き、これらの取組を継続し契約の競争性・公平性・透明性を確保しつつ、事業の効果的・効率的な実施に努めるべきである。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、科学技術の振興を図ることを目的として、科学技術振興機構の設置する施設の整備・充実に必要な施設整備費補助金を支出する事業であり、契約・執行手続きの観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:平成24年度行政事業レビューの指摘を踏まえ、契約における仕様内容の見直し・点検、国の基準に準じた契約方式の実施がされ、改善が見られる。引き続き、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	今後も契約の競争性・公平性・透明性を確保するため、引き続き競争参加条件等のより一層の見直しを図るとともに、他の研究機関と協力してベストプラクティスを抽出し、実行に移す。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0318	平成23年	0214	平成24年	0233

文部科学省
112百万円

科学技術振興機構(JST)の設置する施設の整備充実を図るために要する経費をJSTに対して補助することにより、科学技術の振興を図ることを目的とする。

※文部科学省の支出額とAの差額は、契約差額等によるものであり、差額分については国庫に返納する。

[交付]

【A】(独)科学技術振興機構
92百万円
(施設整備費)

【B】科学技術基盤形成
【全5機関】
80百万円

【C】法人共通
野村ビルマネジメント(株)
12百万円

外国人研究者宿舎、日本科学未来館施設改修工事

川口センタービル施設改修工事

【B】科学技術基盤形成 80百万円

[一般競争・請負]

[一般競争・請負]

[随意契約・請負]

[随意契約・請負]

【B-1】
パナソニックESエンジニアリング(株)
30百万円

【B-2】
筑波学園ガス(株)
27百万円

【B-3】
(株)野澤工務店
22百万円

【B-4】
東京北研(株)
1百万円

日本科学未来館集中監視システムの改修

外国人研究者宿舎「二の宮ハウス」TES更新

日本科学未来館トイレ改修工事

外国人研究者宿舎「二の宮ハウス」排水処理装置改修

【C】法人共通 12百万円

[随意契約・請負]

【C-1】
野村ビルマネジメント(株)
12百万円

川口センタービル計画修繕作業特別避難階段照明器具交換 他

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(独)科学技術振興機構			B-2.筑波学園ガス(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費(請負)	施設改修工事	92	施設整備費(請負)	外国人研究者宿舎「二の宮ハウス」TES更新 他	27
計		92	計		27
B.科学技術イノベーション創出 80百万円			B-3.(株)野澤工務店		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費(請負)	外国人研究者宿舎、日本科学未来館施設改修工事	80	施設整備費(請負)	日本科学未来館トイレ改修工事	22
計		80	計		22
C.法人共通			B-4.東京北研(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費(請負)	川口センタービル施設改修工事	12	施設整備費(請負)	外国人研究者宿舎「二の宮ハウス」排水処理装置改修	1
計		12	計		1
B-1.パナソニックESエンジニアリング(株)			C-1.野村ビルマネジメント(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費(請負)	日本科学未来館 集中監視システムの改修	30	施設整備費(請負)	川口センタービル計画修繕作業特別避難階段照明器具交換 他	12
計		30	計		12

支出先上位10者リスト

A.(独)科学技術振興機構

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)科学技術振興機構	東日本大震災からの復興に向けて被災地企業、関係行政機関等のニーズを踏まえた被災地の科学技術イノベーションの創出、放射線計測分析技術・機器・システムの開発	92	—	—

B.科学技術イノベーション創出

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ハナソニックESエンジニアリング(株)	日本科学未来館集中監視システムの改修	30	1	◇
2	(株)野澤工務店	日本科学未来館トイレ改修工事	22	随意契約	—
3	筑波学園ガス(株)	外国人研究者宿舎「二の宮ハウス」TES更新 他	18	複数案件	—
4	東京北研(株)	外国人研究者宿舎「二の宮ハウス」排水処理装置改修	1	随意契約	—

C.法人共通

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	野村ビルマネジメント(株)	川口センタービル計画修繕作業特別避難階段照明器具交換	12	随意契約	—

◇落札率は、予定価格を類推させるおそれがあるため非公表